

平成31年4月7日執行

佐賀県議会議員選挙公報 (佐賀市選挙区)

佐賀県選挙管理委員会



佐賀県議会議員候補

いちのせ裕子

一ノ瀬裕子プロフィール
昭和46年、佐賀市生まれ。附属小中を経て佐賀西高卒業。早稲田大学第一文学部卒業。平成6年サガテレビ入社(報道局報道部アナウンサー)。政治から経済、福祉、文化まで様々な取材を行い、佐賀県への造詣も深める。平成10年にフリーとなり、サガテレビの番組キャスターや全国放送の「めざましテレビ」中継を約5年間経験。全国植樹祭など皇室関係の式典司会をはじめとして、各種イベントトークショーのコーディネーターとして活躍。話し方講座「ラブレタースピーチ」「トーク19」を開講する傍ら、小・中学校での読み聞かせのボランティア活動を12年。また、大人向けの朗読会開催など、幅広い分野で活躍中。一男一女の母。

声、伝える、つなぐ

女性の声をもっと未来へ



女性の政治参加で心満たす温かい県政を！
この佐賀県の人口の半分は女性ですが、議会で活動している女性の数はほんのわずか。政治は縁遠いものと思っ
ている女性と県議会の距離感を縮めるお手伝いをする
と共に女性の活躍の場を増やします。



佐賀県政の伝え手として
議会って？選挙って？今は18歳で投票する時代だけどまだまだ難しいと思われている政治。若い皆さん、女性の皆さんが政治に気軽に触れられる機会が増えるよう、webやスマホなどを使って、議会情報などがどこでも見られるようにして、県政を分かりやすく伝えていきます。

いちのせ裕子はこんな佐賀県にしたい！



子育て世代的な今を助ける佐賀へ

自らも子育てで真っ最中の母親として、日に日に大きくなる子どもの課題は待ったなしだと実感しています。昔とは子育て環境が大きく変わった今だからこそ必要な考え方や知識を子育て世代が手にすれば家族が丸ごと幸せになれる。そして共に成長できる。そんなバックアップをします！



佐賀の恵みを世界へ「佐賀の魅力アップ！」
「認知度アップ！」
を応援します

佐賀の豊かな風土で育まれた農水産物・商品・伝統工芸品の魅せ方をお客様目線でブラッシュアップ。その価値を国内外の方に発信しデビューするところまで積極的に取り組みます。



志

維新の想いを受け継いで心に力を与える教育を
肥前さが幕末維新博覧会で感じたことのひとつが、佐賀が教育県であったこと。また、教育の大切さです。未来を担う子ども達の心を支え、多様性の中で誰もが輝く、生きる力や立ち上がる心を育む教育を推進します。

江口善紀

プロフィール

情熱佐賀

●昭和42年9月2日生まれ(51歳)
佐賀市本庄町袋在住
●中川副小、城南中、佐賀北高
早稲田大学社会科学部卒業後
米国NY市に語学留学
●旅行会社添乗員として20か国訪問
出版会社、衆議院議員公設秘書
●平成23年4月初当選(現在2期目)
江口よしのり選挙事務所
〒840-0027
佐賀市本庄町大字本庄577-14
TEL 0952-37-6521
FAX 0952-37-6525
eguchikara@yahoo.co.jp

江口よしのり2期8年間の実績 3期目の挑戦！

- 1 目指せ！住民が主役の地方自治**
行政の無駄削減。財政の透明化・借金時計の設置。県議会のチェック機能強化と提案型議会への変革に取り組みます。
- 2 てがね/オスプレイ!!**
佐賀空港は自衛隊と共用しないと決めた公害防止協定は、佐賀空港建設時の、とても重い大切な約束です。地元住民や漁業者の理解が無い中で、佐賀空港への強引な配備計画は決して認められません！佐賀空港の年間利用者数は10年前は約30万人、今年は約80万人です！アジアからの玄関口として、私たちの民間空港として発展しましょう。
- 3 安全・安心な佐賀ブランド！世界から、全国からお客さんを迎えます！**
佐賀の澄んだきれいな空気を求めてアジアから沢山の外国人観光客が訪れています。佐賀の自然、歴史、おいしい食べ物、佐賀人のやさしさは、私たち佐賀人が思う以上に魅力的なものなのです！自信を持ちましょう！
- 4 佐賀なら安心の子育てと老後の福祉！**
15才以下の人口割合は全国3位と佐賀県は若者が多い県なのです。安心の子育て、そして「老後は佐賀に住んでいたら、医療も、福祉も介護も安心だね。」と言われる佐賀県を目指します。それと皆でガン検診、ガン対策に取り組みましょう！
- 5 ヘルプマークの普及で思いやりあふれる佐賀県を！**
外見からは分からなくても、援助が必要な方のマークです。思いやりのある行動で、みんなが安心して暮らせる佐賀県をともにつくっていきましょう。
- 6 佐賀の偉人をもとに大河ドラマを！**
近代日本の幕開け、明治維新で活躍した佐賀の七賢人など歴史と人材豊富な佐賀県。鍋島閔叟公をはじめ大隈重信、佐野常民や世界遺産三重津海軍所跡など佐賀を舞台にした大河ドラマを是非実現しましょう。



江口よしのり

国民民主党公認

良いことは みんなでやろう！ 助けあえる 社会に変えよう！

安心・安全・元気な佐賀！

とくみつ清孝の決意。

佐賀県は、玄海原発やオスプレイ配備、長崎新幹線、有明海再生など国策に関連した課題が多く、今後、数年で政策判断が求められます。そういう重要な時だからこそ、県民目線に立って、佐賀から県民の生活と平和を守る政策を発信することが大切です。その他にも子育て支援、障がい者自立支援、雇用の創出、ゆとりの教育実現、農林水産業の振興、地域経済や地域商店街の活性化、文化の街づくりなど課題が山積しています。

私は、この3期12年間、常に議会で質問に立ち、県民の生活を最優先した県政運営を求めてきました。私は、「安心・安全・元気な佐賀県」をつくるため、4期目をめざして全力で奮闘します。

★プロフィール
九州大学卒。現在、県議会議員3期。社民党県連幹事長、赤松校区体協
会長、佐賀県サイクリング協会会長、自治労組織内議員、日本民主教育
政治連盟議員、赤松校区自治会長会推薦。佐賀市朝日町在住。61歳



とくみつ清孝 5つの政策

- 1 地域経済と生活の安定・向上、雇用の創出
- 2 安心・豊かな福祉社会とゆとり教育の実現
- 3 安全な食と希望ある農林水産業
- 4 脱原発の推進と豊かな自然環境の保護
- 5 自治・分権・平和な県政

県民の生活を最優先した 県政運営を求めます！



とくみつ清孝

社民党公認

平成31年 4月7日執行

佐賀県議会議員選挙公報 (佐賀市選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

なかなかやります!もっと活力ある 温かな佐賀県を目指して!



公明党佐賀県議会議員候補 中本正一

中本正一【プロフィール】
 1959年4月3日生まれ60歳
 1972年3月 高木瀬小学校 卒業
 1975年3月 城北中学校 卒業
 1978年3月 佐賀西高校 卒業
 1983年3月 創価大学法学部 卒業
 2003年4月 佐賀市議選初当選 (以後、3期連続当選)
 2015年4月 佐賀県議選初当選 (現在1期)

【現在の主な役職】
 ●公明党佐賀県本部代表
 ●高木瀬まちづくり協議会顧問
 ●高木瀬土地改良区顧問

【県議会でのこれまでの主な役職】
 ●農林水産商工常任委員会副委員長
 ●議会運営委員会委員
 ●政策条例検討委員会委員

- 1 全国初となる胃がん対策(中学3年生を対象としてピロリ菌検査・除菌)の前進
- 2 「佐賀県手話言語と聞こえの共生社会づくり条例」の制定をリード!
- 3 佐賀県地域ひきこもり支援センターの開設!
- 4 緊急輸送道路の路面下空洞調査と沿道建築物の耐震化対策の推進
- 5 不育症に対する支援が2019年度からスタート!



小さな声をカタチに! 行動力と実行力で 様々な課題に 取り組みました!

自民党公認・佐賀県議会議員候補

きはら 奉文 ほうぶん

プロフィール

昭和28年8月1日生(65才)
 神野小・昭栄中・佐賀北高・専修大
 代議士秘書
 (この時の経験と人脈が、政治への道を志す 決意をさせる)
 昭和58年4月、29才にて市議会初当選(3期)
 平成7年4月、県議会議員初当選、現在6期目
 平成17年秋、自治振興の功勞により、藍綬 褒章を受章
 その他、県政功勞、市政功勞等受章。

- 佐賀県議会議長(第50代)
- 佐賀県議会副議長(第68代)
- 議会運営委員会委員長
- 総務常任委員長
- 文教厚生常任委員長
- 有明海沿岸道路整備 促進議員連盟会長
- 難病対策推進議員連盟会長
- 神道議員連盟会長
- 自民党県連幹事長
- 自民党県連政調会長
- 九州各県議会議長会会長
- 佐賀県体協協会会長 等歴任



きはら 奉文 ほうぶん 自民党公認

責任と信頼。

- 1 自民党佐賀県議団の会長として佐賀と国をつなぎます!
- 2 佐賀県を愛し、自信と誇りを持てるような教育の推進
- 3 有明海沿岸道路や新幹線、オスプレイなど佐賀県の課題の解決
- 4 さがみちの活気を取り戻すためのプロモーションの実施
- 5 若者が佐賀に住みたくなる、働きたくなる仕掛け
- 6 IoTやAI(人工知能)で、佐賀の農林水産業に革命を

進めます 暮らし・福祉・子育て ストップ オスプレイ消費税 10%



日本共産党 むとう明美

党副委員長・新栄校区青少健 副会長・市議2期・県議6期

むとう明美は がんばります

- 小中高校の全教室にエアコンを
- 子ども医療費は18才まで無料に
- みんなが入れる 放課後児童クラブを
- 住宅リフォーム・店舗リニューアル助成制度を
- 中小企業を支援し 最低賃金は時給千円以上に
- 公費1兆円投入で 国保税の大幅引き下げを
- 介護の負担軽減
- 種子法復活を求め タネを守る県条例を
- 1・2号機に続き 玄海3・4号機も廃炉に
- 水門開放で有明海再生を

日本共産党の議員だから頑張れます
 日本共産党の立党の精神は、国民の苦難解決に力を尽くすこと。この党の一員だから、暮らしの願い実現に頑張れます。一致点を大切に市民と野党の共同を進めてきました。
 私・むとう明美は、この日本共産党の一員だから、母と子の願いひとつに、弱い立場の人に政治の光が当たるようにと頑張ります。

子育て教育
 「子ども」の病院代が大変!お母さんの一言から運動が広がり、子ども医療費の助成制度が実現しました。県民運動と力を合わせ、少人数学級実現に道を開きました。

いのち平和
 核と人類は共存できません。被爆地長崎で生まれ育ったからこそ、憲法9条を守り、戦争のない、平和な未来をみなさんと一緒にめざします。

オスプレイの佐賀空港配備や玄海原発の再稼働など、県民の命と暮らしをおびやかす政治が次々に持ち込まれています。私・むとう明美は、暮らしを守る防波堤として、福祉・教育・子育ての願い実現に全力をあげます。

- 給食費は無料にして!
- 年金が減らされて、くらしが大変
- オスプレイの佐賀空港配備だけは絶対ダメ

検索 武藤明美

平成31年 4月7日執行

佐賀県議会議員選挙公報

(佐賀市選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

みんな
地域と
さが
県をつなぐ

古賀ようぞう

古賀陽三プロフィール

昭和52年6月25日生まれ
平成 2年 佐賀市立北川副小学校 卒業
平成 5年 佐賀市立城南中学校 卒業
平成 9年 福岡大学附属大濠高等学校 卒業
平成13年 広島工業大学工学部 卒業
平成13年 国会議員秘書

《現在》

・佐賀県議会議員(2期)
・県土整備・警察常任委員会 委員長
・佐賀南地区交通安全協会 北川副支部 支部長
・佐賀市消防団 北川副分団 団員
・自民党佐賀県連 青年局長



自由民主党公認(二期)
古賀ようぞう

県民のみなさまと共に、これからも地域を創り上げていきます。

ストップ!人口減少・人材流出

働く場づくりを

- 進学・就職を機に佐賀を離れる方が数多くいます。地場産業における商業・工業のさらなる振興を図ると共に、教育機関と県内企業の連携による県内就職率の向上。
- 企業の誘致を推進し、成長分野等での雇用創出、多くの若者が正社員として働くことのできる環境整備。

出産・子育てを応援する社会を

- 保育士の確保の難しさから待機児童が解消されていない地域があります。引き続き、保育士の確保に努めると共に、企業などとの連携により出産後も仕事を続けることができる環境や働きたい女性が働くことのできる環境の整備。
- 障がいをもつ子どもや、特別支援学校に係る今後の教育環境の整備に努めます。

高齢者・障がい者福祉の更なる充実を

- 高齢者や障がいのある方、難病の方、すべての人が輝き、安心して生きがいを持って暮らせるよう更なる施策の充実と環境整備に努めます。

将来を見据えた社会資本整備を

- 災害を未然に防ぐための河川の改修や土砂災害の防止対策、また日常生活に不可欠な老朽化した道路・橋梁等の整備に努めます。
- 広域幹線道路ネットワーク(有明海沿岸道路・佐賀唐津道路等)の整備により、地域間の移動時間や距離の短縮を図ることによって地域や産業の活性化を図ります。
- 全ての人に対し多様な選択肢の中から適した移動手段の確保に向けた環境整備。

活力ある、持続可能な農林水産業を

- 魅力ある持続可能な農業経営確立のため、十分な所得の確保や担い手の育成、また、新規就農者の確保、支援の強化に努めながら現場で汗する方々の声を活かせるよう働きかけます。
- 農家の皆さんが安心して営農に取り組むことができるよう、引き続き、クリーク防災事業や暗渠排水等の整備促進。
- 有明海の再生へ向けた取り組みの強化に努めます。

確かな学力・豊かな心を育む教育を

- 教育に対する投資の充実や教育内容の工夫、また、優秀な教職員を確保するなど学習環境の整備・充実を図ると共に、児童・生徒の学力向上対策に努めます。
- 学校・家庭・地域の連携による体験活動の充実やユニバーサルデザイン教育の推進を図ります。

『一人ひとりが主役の政治』



ふじさき 輝樹



国民民主党公認
ふじさき輝樹

佐賀の福祉

子育て支援・障がい者施策・高齢者福祉の充実で安心して暮らせる元氣な佐賀県に!!

佐賀の経済

雇用者不足の対策と、所得向上につながる農林水産業と中小商工業への支援で元氣な佐賀県に!!

佐賀の教育

確かな学力・柔軟な想像力を育む教育の推進と、特別支援教育の充実!子ども達の明るい未来へ元氣な佐賀県に!!

佐賀の伝統

地域の歴史・伝統・文化を大切に次世代へ!郷土愛豊かで元氣な佐賀県に!!

佐賀の発展

各地域の課題を一つ一つ解決!住民の満足度向上と定住化を促進!やる気あふれる元氣な佐賀県に!!

- 藤崎輝樹(ふじさきてるき)プロフィール
昭和45年12月 大和町生まれ
佐賀県立小城高等学校 - 中央大学卒
大和町議会議員・衆議院議員 原口一博秘書を経て佐賀県議会議員(3期)
現在 文教厚生常任委員会 理事
原子力安全対策等特別委員会 理事
県民ネットワーク 会派代表

カツ 活! 西久保ひろかつが 目指すこと!!

県政に活!! 未来にヒロカツ!!



自民党公認候補
ひろく保

商店街の活性化・地場産業の振興と企業誘致

地域コミュニティを担う人材対策の強化で若者の雇用と定住促進を実現します。

農林水産業の基盤を確立

子ども達が「後を継ぎたい」と思うような、スマート農業と所得向上を目指し、希望の持てる農林水産業を確立します。

防災・減災による安全確保

豪雨による河川氾濫や土砂災害、切迫する地震やインフラの老朽化に対しハード、ソフトの両面からの取組みを推進します。

安心して子育てのできる環境づくり

働く人が安心して子育てのできる環境を実現するためにも、幼児教育の改革と、子どもたちへの食育と健康を推進し実現します。

障害者やお年寄りの方に対応した街づくり

福祉制度の充実と活躍の場の拡大で、誰もがイキイキと心豊かに社会活動に参加できる街づくりを実現します。

女性の積極的な社会参画支援

社会のあらゆる分野における活動において参画する機会を確保し、街づくりに女性の声を活かした政策を実現します。

【西久保ひろかつプロフィール】

昭和55年 佐賀市立城北中学校卒業
昭和58年 佐賀県立佐賀北高等学校卒業後、佐賀県農業大学校入学
昭和60年 西久保工業入社
昭和63年 第一生命グループ(株)第一ビルディング入社
平成13年 西久保農園就農
平成26年 佐賀県食育賞(食農教育部門)を受賞
平成27年 佐賀県議会議員(初当選)
現在 西久保農園代表(耕作面積 米約13ha、大豆約2.5ha、野菜約2.5ha、小麦約12.5ha、玉葱約2.5ha) 農産物直売所「鍋島新鮮市場」代表

- 佐賀市グリーン・ツーリズム実践者研究会副会長
- 佐賀市農産物直売所・加工所連絡協議会会長
- 佐賀県不動産コンサルティング協議会会長
- 自民党佐賀県連政務調査会審議委員
- 自民党佐賀市支部常任顧問(平成27年5月~現在)
- 一般社団法人理事●学校法人監事●社会福祉法人評議員
- 佐賀県議会文教厚生常任委員(平成30年5月~現在)
- 佐賀県議会佐賀空港・新幹線問題等特別委員会 副委員長(平成30年5月~現在)
- 佐賀県議会佐賀環境審議会委員(平成30年5月~現在)
- 剣道初段。父親と母親と妻と長男(大阪在住)の5人家族、54歳

平成31年 4月7日執行

佐賀県議会議員選挙公報

(佐賀市選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

貧困を止め、福祉と教育の充実を 中島ゆみ子は提案します



無所属 40歳
循誘校区(東佐賀町)

中島ゆみ子

頑張る人は報われ、失敗したら次のチャンスがあり、助けが必要な人は支えを得て社会参加できる。高齢でも、障がいがあっても、介護や子育て中、療養中でも、非正規でも、失業中でも、ひとり親でも、小さい時に親と暮らせなくても、子どもがいなくても、いろいろあっても、あなたの人生を応援しているよ、大丈夫。

そんな政治をつくりたいと思っています。あなたの一票を私、中島ゆみ子に託してください。



格差と貧困について

- ★貧困の連鎖を止めるため、子育て支援、教育支援、就労支援の充実を
- ★庶民の暮らしの支えとなる経済政策を
- ★非正規労働者の待遇格差是正

福祉の充実を

- ★財政難による公的福祉サービスの先細りを許さない
- ★当事者の多様性を尊重した福祉を
- ★ボランティアまかせにせず、公で行うべき福祉については、責任ある実行を

子どもを真ん中にした教育

- ★教職員の多忙解消を
- ★小中高校各校に図書館司書・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを常勤体制で配置
- ★教育現場にゆとりと多様性を確保し、大人の都合を子どもにしわ寄せしない教育を

佐賀空港へのオスプレイ配備反対

【プロフィール】中島由美子(なかしまゆみこ)

- ◆1978年長崎市生まれ。5歳の時に両親が離婚、母子家庭で育つ。中学校3年の時、母親がリストラに遭い自死。祖母に育てられる。
- ◆1997年佐賀大学文化教育学部入学。大学3年の教育実習中に心が折れ、教育実習生が教育実習先に不登校という、笑うに笑えない事態に。授業料免除を打ち切られ、大学4年の前期で中退。(2011年放送大学卒業)
- ◆22歳で結婚。2002年から介護老人保健施設にて介護職。2011年から佐賀中部広域連合の嘱託で介護保険認定調査員。思うような支援を得られずに途方に暮れる家族、介護保険内のサービスでは現実に対応できず、身を切るようにして必要な支援を提供する施設、在宅の希望がありながらも、身の回りのことが困難になり、施設入所を検討せざるを得なくなる独居の高齢者など、制度と現実の矛盾を実感。
- ◆資格：社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー1級、保育士
- ◆現在：飲食店パート、循誘まちづくり協議会健康づくり・福祉部会で活動
- ◆家族：夫、息子2人(小学3・6年) ◆ブログ⇒

佐賀の福祉と子育て環境の充実を目指します！

- 子育て世代として、放課後児童クラブや多胎児支援の充実を提案しました
- パーキングパーミット制度の不公正利用を正し、充実を提案しました
- 子育て支援・結婚支援の充実を提案しました

佐賀の農林水産と経済の発展を目指します！

- キャッシュレス決済の普及を提案し、事業化されました
- さがブランドの強化を提案しました
- 観光の発展・日本版DMOの活用を提案しました

議会での提案と成果

佐賀の教育の充実を目指します！

- 山村留学など特色ある教育の推進を提案し、自発の地域づくりへの支援として事業化されました
- 特別支援教育・インクルーシブ教育の充実を提案しました
- 道徳教育やグローバル人材の育成の大切さを提案し、事業化されました

佐賀の伝統や文化を守ります！

- 閉幕した維新博のコンテンツの活用を提案し、事業化されました
- 景観改善の為に無電柱化を提案し、市町への支援として事業化されました
- 有田焼創業事業の充実など佐賀の宝の発信を提案しました

地域の身近な声を届けます



佐賀県議会議員 自民党会派所属

青木 かずのり

青木かずのりプロフィール 43歳(佐賀市八幡小路)

UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校) Extension
米国ワシントン州立 Shoreline Community College 刑事司法学専攻
衆議院議員公設秘書

現在：総務常任委員会副委員長

公式HP <http://aokikazunori.com>



青木 かずのり



ふるす 茂幸

自由民主党公認候補

豊かな経験と実績

1 次代を担う農林、水産業を

●先進的経営による所得向上と就農者の確保



2 災害に強い県土づくりを

●事前防災による国土強靱化で暮らしやすい地域づくり



3 未来を担う子育て支援と教育再生

●少子化に歯止めをかけ子育てしたいふるさとを



4 安心して暮らせる生きがい社会づくりを

●超高齢化社会を支えるやさしい地域づくり



5 人口減少社会に歯止めを

●新規雇用の場の創出で若者の定着



6 地域間交流のネットワーク形成

●高規格道路と生活関連道路の整備で交流人口増と観光拠点づくり



7 有明海の再生

●国の責任により宝の海を取り戻す具体的な施策の実施



まっすぐにひたむきに!!

平成31年 4月7日執行

佐賀県議会議員選挙公報

(佐賀市選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

県民と進める

3つの

ワッ!!

ワッ
話

皆様との対話を通して、
しっかり声を受け止め、
民意を反映した県政の
実行!人に寄り添う政治
こそが私の信念です。

住みたいほどいいまち 佐賀へ!!

ワッ
輪

相互に絆を深め活動の輪を広げ
政治の流れを変えよう!

ワッ
和

和(やわらぐ)姿勢で!
しっかりしたまちづくり
の話し合い。和やかに
笑顔輝く佐賀づくり。

人に寄り添う、
やさしい社会を創る!!



自由民主党公認
かわさき常博
つねひろ
52才

K Kawasaki
Tsunehiro

かわさき 一歩前へ!

投票日は

4月7日(日曜日)



あなたの一票大切に!

投票時間は

午前 **7** 時から 午後 **8** 時まで

※唐津市・武雄市・吉野ヶ里町・有田町・大町町・太良町では、全投票所で投票時間が午後6時までとなっています。
※嬉野市の全投票所、神埼市の一部の投票所で投票時間がそれぞれ変更されていますので、各市からのお知らせをご確認ください。
※立候補者の数が選挙すべき者の数を超えない場合は、無投票になります。

投票用紙の色は

うすいブルー

投票日に投票できない方は

4月7日の投票日に旅行や用務で投票できない方は
期日前投票きじつぜんを利用しましょう。

期日前投票は、選挙人名簿登録地の市町で投票日
前日までに投票を行う制度で、手続きも簡単です。

■期日前投票ができる期間

3月30日(土)～4月6日(土)までの毎日

※8:30～20:00まで(土曜日・日曜日でもできます。)

※一部の期日前投票所を除く。(市町からのお知らせをご確認ください。)

- 投票用紙には、候補者の氏名のみを記入し、それ以外の字や記号は書かないでください。(投票自体が無効になる場合があります。)
- 候補者の氏名は、投票記載場所に掲示してある候補者一覧表をよく確認して記入しましょう。

平成31年 4月7日執行

佐賀県議会議員選挙公報

(佐賀市選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

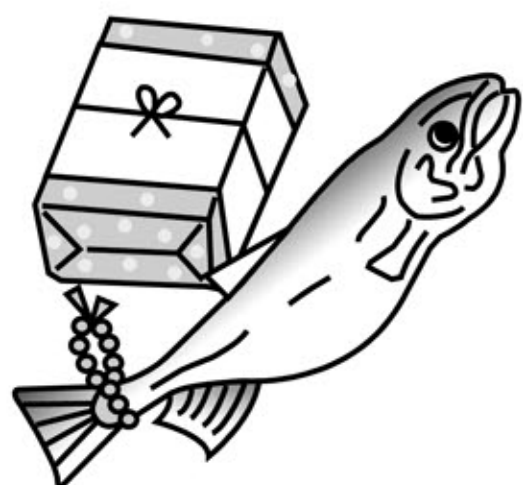
政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

政治家が選挙区内の人に、
お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
違反すると、処罰されます。
また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

寄附禁止のルールを守って、
明るい選挙を実現しましょう。



政治家の寄附禁止



お歳暮やお年賀



入学祝・卒業祝



病気見舞い



秘書等が代理で出席する
場合の結婚祝



秘書等が代理で出席する
場合の葬式の香典



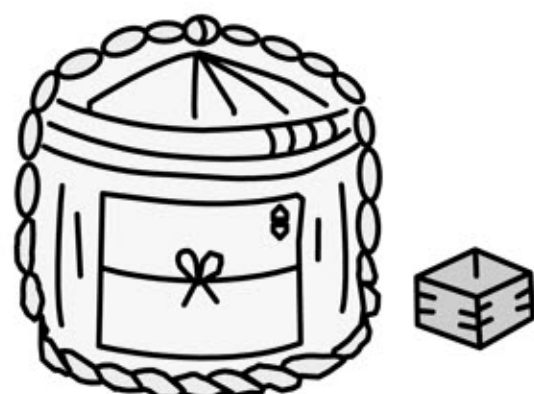
葬式の花輪・供花



落成式・開店祝の花輪



町内会の集会や旅行などの
催物への寸志や飲食物の差入



お祭りへの寄附や差入



地域の運動会やスポーツ大会
への飲食物の差入

贈らない! 求めない! 受け取らない!

投票用紙には、候補者の氏名を
正しく、はっきり書きましょう

せっかくの投票が無効になる場合があります。



投票が無効になる例

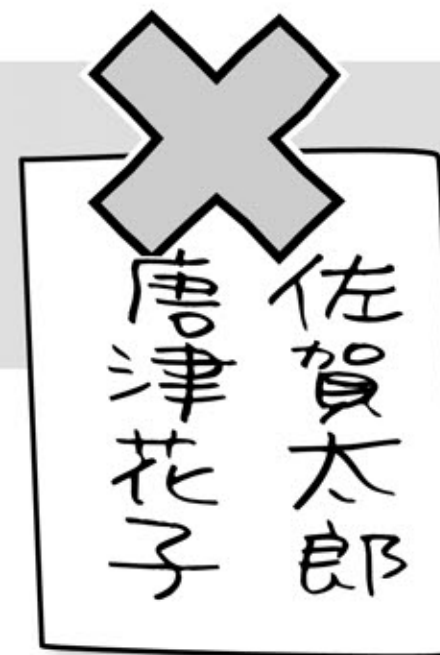
①

所定の投票用紙を使用していないもの。



②

2人以上の候補者の氏名を書いたもの。



③

候補者の氏名のほか、それ以外のことを書いたもの。



④

自分で書いていないもの。



⑤

立候補していない者の氏名を書いたもの。

⑥

誰の氏名を書いたのか確認できないもの。

⑦

単にいたずら書きしたもの。

⑧

白紙投票(何も書いていないもの。)

平成31年 4月7日執行

佐賀県議会議員選挙公報

(佐賀市選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

投票日は

4月7日 (日曜日)



あなたの一票大切に!

投票時間は

午前7時から 午後8時まで

※唐津市・武雄市・吉野ヶ里町・有田町・大町町・太良町では、全投票所で投票時間が午後6時までとなっています。
※嬉野市の全投票所、神崎市の一部の投票所で投票時間がそれぞれ変更されていますので、各市からのお知らせをご確認ください。
※立候補者の数が選挙すべき者の数を超えない場合は、無投票になります。

投票用紙の色は

うすいブルー

投票日に投票できない方は

4月7日の投票日に旅行や用務で投票できない方は
期日前投票きじつぜんを利用しましょう。

期日前投票は、選挙人名簿登録地の市町で投票日
前日までに投票を行う制度で、手続きも簡単です。

■期日前投票ができる期間

3月30日(土)～4月6日(土)までの毎日

※8:30～20:00まで(土曜日・日曜日でもできます。)

※一部の期日前投票所を除く。(市町からのお知らせをご確認ください。)

- 投票用紙には、候補者の氏名のみを記入し、それ以外の字や記号は書かないでください。(投票自体が無効になる場合があります。)
- 候補者の氏名は、投票記載場所に掲示してある候補者一覧表をよく確認して記入しましょう。

県議会議員の選挙区・定数

今回の県議会議員選挙の選挙区・定数は次のとおりです。

選挙区名	定数	選挙区の区域
佐賀市	11	佐賀市
唐津市・東松浦郡	6	唐津市・玄海町
鳥栖市	3	鳥栖市
多久市	1	多久市
伊万里市	3	伊万里市
武雄市	2	武雄市
鹿島市・藤津郡	2	鹿島市・太良町
小城市	2	小城市
嬉野市	1	嬉野市
神崎市・神埼郡	2	神崎市・吉野ヶ里町
三養基郡	2	基山町・上峰町・みやき町
西松浦郡	1	有田町
杵島郡	2	大町町・江北町・白石町
県計(13選挙区)	38	

